

次世代低公害車開発促進プロジェクト

大型ディーゼル車に代替する次世代低公害車の開発・実用化を促進するため、平成14年度から16年度の3カ年で、独立行政法人交通安全環境研究所を中核的研究機関として、次世代の低公害車両等の開発を行うとともに、安全上・環境保全上の技術基準等を策定し、その普及のための環境を整備する。

次世代低公害車の排出ガス性能は、2005年規制の排出ガス10分の1を目標とする。

大型ディーゼル代替次世代低公害車の例

ジメチルエ - テル自動車

- ・ 燃費は軽油と同等程度
- ・ 黒煙は排出されない
- ・ 天然ガス、バイオマス等多様なエネルギー源から合成可能な燃料

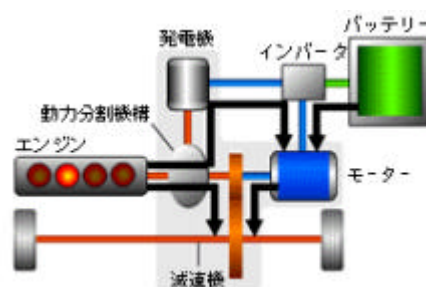
< DMEトラックの試作車 >



次世代ハイブリッド自動車

- ・ 燃費、排出ガス性能を大幅に改善する次世代の大型用ハイブリッドシステム

< 次世代ハイブリッドシステムの例 >



ス - パ - クリ - ンディ - ゼル車

- ・ 新燃焼方式や後処理装置等により、排出ガス性能を飛躍的に向上させたディ - ゼル車

< 高性能ディ - ゼル排出ガス後処理装置の例 >



次世代低公害車の開発試作テーマ（5車種）

DME（ジメチルエ - テル）トラック（20トンクラス）

天然ガストラック（25トンクラス）

シリ - ズハイブリッドディーゼルバス（80人乗り）

パラレルハイブリッドディーゼルトラック（15トンクラス）

ス - パ - クリ - ンディ - ゼルトラック（25トンクラス）